

## 「助け主をお与えになる。」 ヨハネ 14章 16～24節

「風は思いのままに吹きます。その音を聞いても、それがどこから来てどこへ行くのか分かりません。御霊によって生まれた者もみな、それと同じです。」(ヨハネ3・8) というように、クリスチャンになるということは不思議なことであり、御霊の働きによるのです。

「まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」(同4・23)。神が求めておられる基準では、自分が選ばれる者とは思われませんが、御霊によってこそ神を礼拝することができるとは、

「わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかにさします。」(同16・7・8)。聖霊が働かなければ、罪を自覚することがないので、普通の人は、悔い改めることはできません。そして、神こそが義であり、正しい関係や在り方を悟ることができないのです。そして、聖霊が内在していない人は、神がその人を裁くなんて信じられないのです。人の良い人は、悪人が他人を犠牲にしても自分の欲や願いを満たそうとしていることがわからないのですが、聖霊によって人が悪であることに気が付いてきます。祈りとは、聖霊の感化と教えを受けとることです。

「イエスは、ご自分を信じる者が受けることになる御霊について、こう言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ下っていないからである。」(同7・39)。弟子たちも、まだ聖霊を受けていなかったのです。生まれながらの人のように、喜怒哀楽に生き、感情に左右されていたのです。

ところが、旧約の時代でも、一部の人には、聖霊が注がれていました。ダビデは、「私をあなたの御前から投げ捨てずあなたの聖なる御霊を私から取り去らないでください。」(詩篇51・11)と、御霊に導かれていることを告白しました。ダビデの繊細な信仰心は、聖霊に導かれたものでした。

「御霊が補佐官の長アマサイをおおった。『ダビデよ、私たちはあなたの味方。エッサイの子よ、私たちはあなたとともにいる。平安があるように。あなたに平安があるように。あなたを助ける者に平安があるように。まことにあなたの神はあなたを助ける。』」(1歴代12・18) これは、一時的に聖霊が働いた事例です。

「万軍の主がその御霊によって先の預言者たちを通して送られた、御教えとみことばを聞き入れなかった。」(ゼカリヤ7・15)と、真の預言者たちは、聖霊によって預言をしました。

新約時代に入って、イエス様は「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできません。」(ヨハネ3・5)と宣言されました。聖霊による罪の自覚や救いは上述のとおりです。先週お話ししたように、弱者をないがしろにする行為は、聖霊が内在していない証拠として、私たち信仰者にも確認でき、自らを律するものとなります。神の裁きを意識しないのは、聖霊が内在していないからです。

「この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもしないので、受け入れることができません。」(17)。私たちの信仰や誠実さを、世の人々に理解してもらおうことはできません。これは、終末の混乱と俗悪の時代における奇跡です。

ですから、主は、「わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。」(18)と約束してくださるのです。まず、「助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。」(19)。私たちは、もつと聖霊に満たされ、導かれるように祈ります。この世の思いや罪人の判断に惑わされてはいけません。

「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です。わたしを愛している人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現します。」(21)。聖霊に満たされ、助けられるのは、人を愛し、助けるといふことを実践している人です。むしろ、私たちが助け愛する人が、救われている人というわけではありません。私たちの宣教は、自分のことばかり考え、人を犠牲にする人々に対する犠牲的な愛に基づくのです。

イエス様が遣わす助け主、聖霊の働きは、「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」(23)として現れます。

「わたしを愛さない人は、わたしのことばを守りません。」(24)。諸困難が次々の起こる時、自分を弱い者、力のない者として、誰も助けられないならば、助け主は必要なく、聖霊も私たちが去ってしまいます。主に愛される喜び、助け主に助けられる証しを体験していきましょう。

## 1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

## 2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

## 3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

## 4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

## 5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

# 今週の聖書

ヨハネ 14:16 ヨハネが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてください。

14:17 この方は真理の御霊です。世はこの方を見ることも知ることもないので、受け入れることができません。あなたがたは、この方を知っています。この方はあなたがたとともにおられ、また、あなたがたのうちにおられるようになるのです。

14:18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたのところに戻って来ます。

14:19 あと少しで、世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生き、あなたがたも生きることになるからです。

14:20 その日には、わたしが父のうちに、あなたがたがわたしのうちに、そしてわたしがあなたがたのうちにいることが、あなたがたに分かります。

14:21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛している人です。わたしを愛している人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身をその人に現します。」

14:22 イスカリオテでないほうのユダがイエスに言った。「主よ。私たちにはご自分を現そうとなさるのに、世にはそうならないのは、どうしてですか。」

14:23 イエスは彼に答えられた。「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

14:24 わたしを愛さない人は、わたしのことばを守りません。あなたがたが聞いていることばは、わたしのものではなく、わたしを遣わされた父のものです。

Joh 14:16 "And I will pray the Father, and He will give you another Helper, that He may abide with you forever-

14:17 "the Spirit of truth, whom the world cannot receive, because it neither sees Him nor knows Him; but you know Him, for He dwells with you and will be in you.

14:18 "I will not leave you orphans; I will come to you.

14:19 "A little while longer and the world will see Me no more, but you will see Me. Because I live, you will live also.

14:20 "At that day you will know that I am in My Father, and you in Me, and I in you.

14:21 "He who has My commandments and keeps them, it is he who loves Me. And he who loves Me will be loved by My Father, and I will love him and manifest Myself to him."

14:22 Judas (not Iscariot) said to Him, "Lord, how is it that You will manifest Yourself to us, and not to the world?"

14:23 Jesus answered and said to him, "If anyone loves Me, he will keep My word; and My Father will love him, and We will come to him and make Our home with him.

14:24 "He who does not love Me does not keep My words; and the word which you hear is not Mine but the Father's who sent Me.